

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ

会報



会 長 函 師 義 孝
 副 会 長 石 田 喜 克
 幹 事 山 口 順 一
 例 会 日 毎 週 木 曜 日 12:30~
 例 会 場 ホ テ ル 泉 屋 2F
 事 務 所 宮 崎 県 児 湯 郡 高 鍋 町 大 字 北 高 鍋 1368-4
 ホ テ ル 泉 屋 内 TEL/FAX 0983-21-1636

第 1775 回 平成 25 年 2 月 21 日 プログラム

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 各委員会報告 |
| それこそロータリー | 9. 外部卓話 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間 | 11. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | 12. |
| 6. 出席報告 | |

2730 地区ガバナー 山下 皓三

中部分区ガバナー補佐 池田 豊繁

2730 地区テーマ

夢・誇り・挑戦 (素晴らしいロータリーの再生)

高鍋ロータリークラブテーマ

「絆」 原点を見つめて一思いやりの心で

2月の月間テーマ

世界理解月間

本日の例会案内

- *外部卓話一日銀宮崎事務支所長 斧淵裕史様
- *プログラム委員会

次週例会案内； 2月28日 (1776回)

- *外部卓話一畠山茂子様
- *100万ドル

第 1774 回 例会内容

■会長の時間

会長 函師義孝君

皆さんこんにちは。一週間のご無沙汰でございます。2月10日に第6回高鍋ロータリーカップミニラグビー大会が選手422名の参加で開催され、会員も14名の方に参加頂き、ありがとうございました。



本日は、木城えほんの郷の村長 黒木郁朝さんに卓話を頂きます。宜しくお願いします。

さて、今日は顧客満足についてお話しします。

高度成長が終ろうとしていた頃、あるメーカーの課長とCSの話になりました。私とその事を今一度真剣に考えないといけないと言いましたら、そうだと我々が顧客をどんなにか大切に思っていると思われるようにしなくては行けない。如何に安定した顧客が地所に行かないような囲い込みが出来るかだという返事が返ってきたのです。

私が意図するところと違う返事につけにとられました。企業がお客様を選択する権利ではなく、企業を選択する権利はお客様にあるという考えに徹しない限りお客様はどんどん逃げてしまうという危機感が余りにも欠如しているのではないかと思ったのです。お客様あっての我々

だということをいつも意識して仕事すれば、それはシェルドンの言う“最も良く奉仕する者、最も良く報われる”に近づくことになるのではないのでしょうか。顧客が来ないと思っただけでなく、どうして他の同業に顧客が行くのかを真剣に考えてみましたか。そうすれば、良いヒントが、改善すべき点が見つかるかもしれません。今からでも遅くないと思います。

今日もロータリーを楽しんで下さい。

■幹事報告

幹事 山口順一君

<文書案内>

*佐土原ロータリークラブ
 創立25周年記念式典及び
 祝賀会のご案内

日時 平成25年3月13日

*児湯准看護学校卒業式案内
 日時 平成25年3月5日(火)

場所 児湯准看護学校



■出席報告

出席委員 向山健一君

出席状況

会 員 数	50名
出席会員数	36名
ホーム出席率	73.47%
前々回修正出席率	83.67%



■BOX披露

親睦活動委員長 橋口清和君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

函師義孝君 高鍋ロータリー
カップミニラグビー大会大
成功でした。14名の参加あ
りがございました。

えほんの郷村長黒木郁朝様
をお迎えして。今日は宜し
くお願いします。



黒木敏之君 黒木郁朝さんをお迎えして。

木村貞夫君 えほんの郷より黒木郁朝村長をお迎えして。
本日は有難うございます。遠い所よりおいで頂き感謝
申し上げます。

石田喜克 黒木郁朝様卓話ありがとうございます。

2月10日の第6回高鍋ロータリーカップミニラグビー
大会にクラブ会員14名の参加で盛大に大会が開会し、
事故もなく終了致しました。ご支援・ご協力誠にあり
がとうございました。感謝

藤本範行君 木城えほんの郷の黒木郁朝様をお迎えして。
本日は卓話をありがとうございます。楽しみです。

◇外部卓話

えほんの郷 村長 黒木郁朝様

私はお話する
ことにあまり慣れ
ていませんが、宜
しくをお願いします。

子供の成長する
にあたっての話を
します。

子供は世界の始
まりであり、生ま
れ育っていきます。

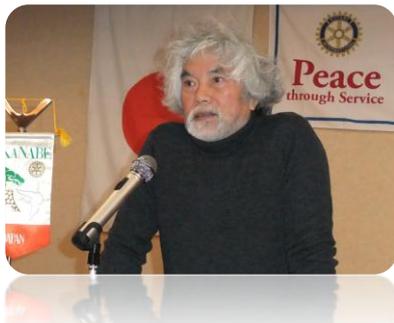
獣から人間になっていく子供は、心と身体が少しずつ
成長しながら大きくなっていきます。這えば立て、立て
ば歩め、立って歩き始め時、倒れそうになれば前に手
ついて怪我しないように安全を体で覚えます。

今の子は、小学校に入ってからかけっこで倒れると顔
から倒れて怪我をする。歩行器とか文明の利器を使うと
体が危険を感じる反応をしない。

えほんの郷は、自然の中で子供をのびのび育てるため
の環境にあります。

人は、火を使うことやそれを管理することを覚えて、
火の色や熱さを知り、少しずつ精神的に成長していき、
大人となる。森の中で、幼少期から雨の日には雨の中で、
風の日には風の中で、暑い時、寒い時の体験が五感全部
を使った経験となり、一人の人間として成長していく。
今のインターネット、パソコンや携帯に毒されている社
会では、なかなか難しいと言える。人類が生まれ、最初
の壁画のアートが始まりであり、絵本につながる。

えほんの郷は、都市と山村の交流モデルとして15年
前に作られましたが、役場がいっさい口を出さないとい
う条件で引き受け今日までできました。



3月23日(土)に「お花見狂言会」を開きます。
昔の日本のよき時代、春は山桜の咲く頃に田植えをし、
暑い夏の虫とり、秋の収穫、お祭りで寒い冬を知り、一
年の四季をめぐって子供たちは成長していく。

田舎の里山の中で、子供たちが自然体験のできるよう
な場を作った。子供たちが人間らしく育つために必要な
こと。これからも努力していきたいと思います。

(木村貞夫記)



プログラム委員長の木村貞夫君

黒木郁朝様の紹介

お花見狂言会ポスター



■委員会報告 ロータリー財団委員長 黒木敏之君

2月10日(日)シーガイア
コンベンションセンターで、
第1回「MOU地区補助金管理
セミナー」が開催されました。

ロータリー財団の「未来の夢
計画」新しい補助金導入が
2013年7月から開始されます。

補助金申請には参加資格を得る必要があります。

1. 補助金管理セミナーへの出席
2. 「クラブ覚書」に同意し、署名入りの「覚書」を提出する。
3. 年次寄付と恒久寄付の協力

プロジェクトの立案には先ず地域社会のニーズを調査
する必要があります。また、計画の立案には予算の作成、
目標の設定、研修の目的を明確にしなければなりません。

補助金の管理と報告も義務付けられています。財務管
理計画、書類の保管、地区補助金の報告書が必要です。

事例として、①延岡 RC のインドの学校設立。

②阿久根 RC の車いすバスケットボールの支援。

③鹿屋西 RC のバラ園の再生(環境プロジェクト)。

計画には必ず人道的側面、人道的支援であることが求
められているようです。例えば単なるソフトボール大会
の開催ではなく、障害者の為のソフトボール大会にする
など人道的目的が求められます。



お知らせ

出席100%の日 は 3月21日(木) です。
日程の調整をして頂きご協力をお願いします。
出席委員会